

コミュニティづくり学習会 ニュース 第3号

まちづくりの目標の実現に向けた活動は？

まちづくりを支える新たな組織づくりを目指して、これからのまちづくりについて多くの住民の皆さんと語り合う第4回「コミュニティづくり学習会」を12月6日（金）にカミーリヤ視聴覚室で開催しました。

学習会としては最終回となる今回は、75名の方々が参加しました。まちづくりの目標の実現のための活動について、これまでの学習会の結果を踏まえて設定した「自然・環境」「歴史・伝統」「安全・安心」「子ども・子育て」「高齢者支援」「地域のつながり・交流・活力」の6つのテーマ別に、日ごろ関わっている活動や関心の高いテーマなどの希望をとり、10のグループに分かれて話し合いました。

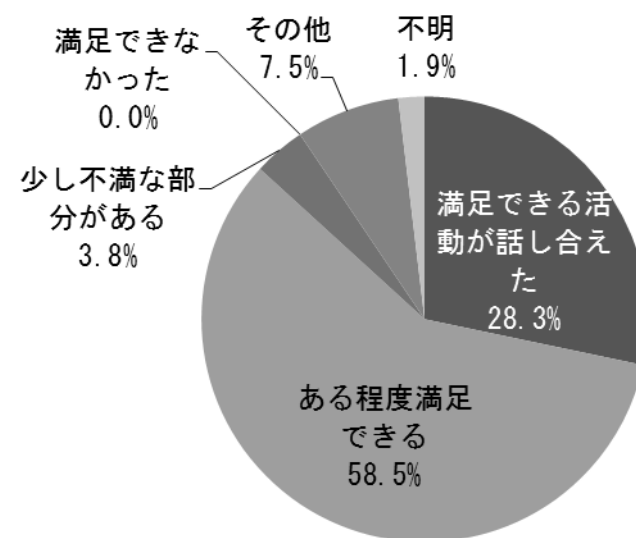


地域のつながり・交流・活力	目標の実現に大切なポイント	新たに考えられた活動
① 地域の輪づくり	<ul style="list-style-type: none"> みんなが知り合う 人とのつながり 思いやり お互いを思いやること おつきあい 	イベントつながりプロジェクト ☆各サークル（団体）の交流 ☆観劇会（子ども～大人まで） ☆町内バスツアー ☆高齢者から子どもへ昔遊び伝承イベント ☆活動の中心をつくる（人物も） ☆高齢者・若者・女性とのつながり ☆高齢者と若者の交流 ☆年齢差の茶話会 ☆若者と高齢者との交流（知恵の伝承等） 奉仕プロジェクト 育成プロジェクト ☆昔のような遊び、低学年から高学年の交流 ☆子どもを中心とした催し ☆子どもが大人へ（高齢者へ）食事づくり ☆あいさつ運動（声かけ）
② 楽しく遊んで作ろう！ 地域の輪・和・ワッ!!	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達と地域の方々とのつながり、交流 若い人が地域活動に参画する 人間関係（思いやり） 地域（区）を越えたさまざまな交流、協同 思いやり 	季節イベント つながりづくりプロジェクト ☆区の新しい組織づくり ☆公民館の開放 ☆地区を越えて活動の交流、お誘い、支援を ☆地域の方々の文化祭、発表会 健康長生きプロジェクト ☆スポーツ大会 いい町つくろう！プロジェクト ☆清掃活動と花や木を植える活動 ☆見守り活動 あれこれやりたいプロジェクト ☆サークル活動 ☆子どもと地域の方々との教室 ☆筑紫散策 ☆ひとり一活動（スポーツ、芸術、教養等） ☆餅つき大会
③ 全員参加の明るい町づくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域楽しく 人と人とのつながり 交流・活力、区別にこだわらない 孤立の防止 挨拶のできる町 	イベント活性化 ☆夏祭り ☆餅つき大会 健康づくりプロジェクト ☆体育祭 ☆運動会での弁当配布（参加を増す） ☆健康運動 見守りプロジェクト ☆声かけ ☆小単位でのサロンづくり（お茶会） ☆歌声サロン ☆見守り活動

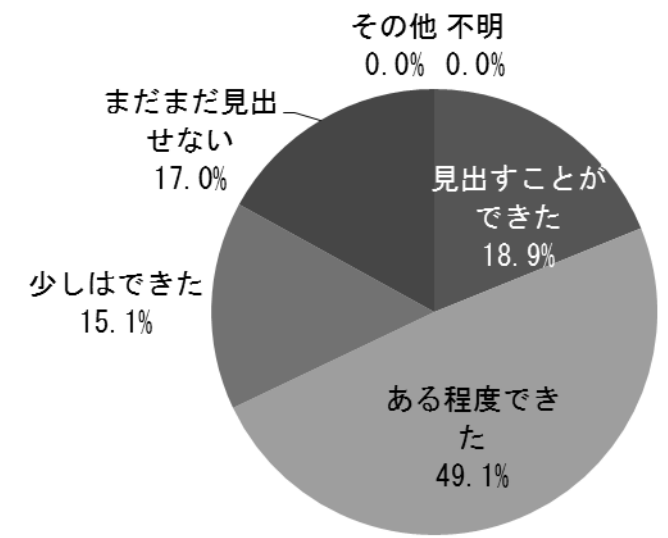
「地域のつながり・交流・活力」は3つのグループに分かれて話し合いました。

第4回学習会 参加者アンケートの結果（抜粋）

まちづくりの目標の実現のための活動は？



学習会でまちづくりの方向性は？



コミュニティづくり報告会のお知らせ

4回の学習会で話し合われた内容のまとめ、組織づくりに向けた準備会などのこれからの進め方について報告会を開催します。これまで学習会に来たことがない方でも参加できます。多くの方々の参加をお待ちしております。

日時：2月6日（木）19：00～ 場所：カミーリヤ

問合せ先 市民協働推進課 地域コミュニティ担当 (092-923-1111 内線 211・212)

話し合われた目標とその実現に向けた活動（新たな活動を抜粋）

それぞれのテーマ別にまちづくりの目標の実現に向けて何をすべきかを考えていくうえで、大切にしたいことや忘れてはいけないことを確認し合い、今行っている活動、お互いに連携・協力することでさらによくなるような活動、新たな活動のアイデアを考えました。さらに、それぞれのテーマごとに具体的なまちづくりの目標をまとめました。

自然・環境	目標の実現に大切なポイント	新たに考えられた活動
宝満川の自然を活かした街づくり 緑の環境を守る・花づくりによる美化	<ul style="list-style-type: none"> 宝満川を観光に 宝満川の良好な環境維持・向上 宝満川の地域資源を活かしたまちづくり 自然を大切にする 昆虫、小鳥等の多い地域 	宝満川の自然を活かす街づくり ☆宝満川の水流を利用した発電 ☆カヌー大会、自然ゾーンの場所づくり ☆船小屋温泉近くの運動公園の広さにビックリ、ホテルが育つ小川が公園の真ん中を走っている ☆川の中の砂山を水が流れるようにする ☆河川でのイベント開催、鳥観察等 ☆宝満川護岸遊歩道の清掃の活性化 緑の環境を守る花づくり美化 ☆地区の自然の特徴を活かして地域づくり ☆（環境基本計画）筑紫地区アンテナショップみたいな活動があり、とりまとめたので活用 ☆地域での花いっぱい運動（地域に花壇を作り花づくりグループを作る） ☆自然環境と開発が矛盾するのでバランスが必要



歴史・伝統	目標の実現に大切なポイント	新たに考えられた活動
歴史の保存と伝承のまち	<ul style="list-style-type: none"> 歴史と人を結ぶ 昔のを知る 長崎街道 歴史の保存 筑紫の地の歴史 筑紫神社の歴史 筑紫神社を中心にした歴史観 	史跡ウォーキング ☆原田宿から山家まで街道ウォーキングロード ☆長崎街道を親子、友達で歩く ☆史跡ウォークラリー ☆歴史的に重要な場所を訪ねる 歴史学習サークル ☆各史跡の勉強会 ☆歴史サークルを作る ☆筑紫地区の地図、歴史史料 歴史と観光の開発プロジェクト ☆歴史の勉強会 ☆歴史散策 ☆地区外の方々への宣伝・誘致 ☆地域の経済発展 ☆地域の活性化 ☆街道筋に市をたてる、道しるべをたてる ☆現存の歴史史跡を残す史料を作る ☆歴史的に重要な場所を紹介 ☆長崎街道の地理を知る ☆観光と歴史 ☆温泉と歴史の道 ☆観光ルートの作成 ☆筑豊線で街道の旅を



子育て・子ども	目標の実現に大切なポイント	新たに考えられた活動
地域で育てる未来の宝	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の支援 子ども達に気軽に声をかけられるようにしたい 地域との交流 学校・地域・家庭による「協働子育て」 子育て卒業の方々の支援 いじめ対策 地域とのつながり 	見守りプロジェクト ☆コミュニティスクールの設立 コミュニティスクールプロジェクト ☆B.Gレジャー事業 ☆コミュニティスクール 祭りプロジェクト ☆老人と子どもの交流 ☆もっと子ども達を地域行事に参加させる



安全・安心	目標の実現に大切なポイント	新たに考えられた活動
① 安全で安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携 犯罪抑止 子ども達が成長していけるまち 防犯意識！情報の共有 交通の安全 高齢者、小中学生の所在地確認 	校区全域青パト隊 ☆パトロール連携 ☆青パト車の整備 ☆青パトの充実（地域での連携） 防災備え隊 ☆高齢者、小中学生の在宅マップ作成 ☆筑紫地区全体での避難場所、防災訓練 子ども見守り隊 ☆子ども見守り隊制服の統一 設備充実し隊 ☆交通安全施設のチェック ☆防犯灯を増設する 情報共有し隊 ☆全員参加、順番制で毎日パトロール ☆防犯活動情報交流会 ☆安全安心情報交換会 ☆活動内容の承知情報 ☆情報共有の仕組み
② 歩行者にやさしい町づくり	<ul style="list-style-type: none"> 筑紫交差点の改良（高齢者の交通安全の確保） 危険な個所をなくす 地域のコミュニティ（会話） 病院、買物の便利 安全・安心、交流 	パトロールプロジェクト ☆校区内に危険個所をさがす隊を結成 高齢者の安全 ☆緊急連絡網の作成 声かけ運動 ☆町内であいさつ運動（見知らぬ人にも積極的に） 歩行者の安全確保 ☆通勤通学路の整備 ☆徹底した区画整理が必要



「安全・安心」は2つのグループに分かれて話し合いました。

高齢者（健康・福祉）	目標の実現に大切なポイント	新たに考えられた活動
① 高齢者を大切にやさしい筑紫	<ul style="list-style-type: none"> 独居老人の見学 福祉のまちづくり 食生活について 健康づくり 安心 近所の方々とは仲良く楽しく暮らしたい 	引きこもりゼロ ☆コミュニティバス ☆100円バス、巡回バス 太陽の下で元気よく ☆子どもと高齢者が参加するスポーツ振興会 なんでもやる隊 ☆なんでもやる隊（便利屋） ☆お助け隊 見守り隊 歌い隊・踊り隊・食べ隊 ☆高齢者の生活能力を調べる（デスクワーク） ☆みんなで歌おう童謡・唱歌 ☆高齢者向けの地域の情報ラジオ ☆高齢者の料理教室
② 元気な高齢者が多い町	<ul style="list-style-type: none"> 引きこもりにならないように！！ 声かけ（あいさつ） 高齢者の方との挨拶、笑顔での語りかけ 人権福祉の実現 高齢者の状況把握 高齢者、元気に集える場所づくり 何かやることを見つけやすく 	一歩踏み出そう高齢者 ☆高齢者に声かけたら高齢者からのポイント制 ☆見回りメンバーの工夫（民生委員・福祉委員＋隣組長） ☆老人会をサロン活動と連携して一緒にの会を ☆サロン新聞などで声かけをする、また参加している方から声かけもお願いする ☆サロン活動への参加を増やす工夫が必要 ☆サロンの小グループ化 ☆いつでもお茶飲み（話）ができる場所づくり ☆高齢者を積極的に表へ出してもらおう（機会を作る） ☆自治会で高齢者を対象に年に一度バスハイク ☆高齢者の楽しみとして年に1回程度温泉に行く ☆多様化された高齢者の活用方法を考える



「高齢者支援」は2つのグループに分かれて話し合いました。